

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	平内町			代表者名	船橋 茂久
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	総務課	連絡先電話番号	017-755-2111
担当者役職	係長	担当者氏名	田中 友樹	連絡先E-mail	
住所	039-3393 青森県平内町大字小湊字小湊				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名(予定)	DXに係る全体方針策定等		
概要	どのようにDXに取り組んでいくか、現状の姿やあるべき姿を検討するにあたり、支援を頂きたい。				
支援を求める分野	計画策定支援				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1.	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
対応日・時間	有	171	令和6年10月9日	支援・助言	実地
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年9月30日	支援・助言(実地)	10時30分	17時00分	60
				活動時間(分)	330
2-2.	会場名	平内町役場 本庁舎		最寄駅	小湊駅
派遣場所	所在地	青森県東津軽郡平内町大字小湊字小湊63番地		最寄駅からの交通手段	徒歩

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	大木 一浩
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	<ul style="list-style-type: none">これまで検討されていなかった点について、気づきを得ることができ住民サービスの向上に繋がり得るため。当町はホタテ養殖等の一次産業が町の産業の大半を占めており、ホタテ養殖以外の海産物の活用(観光資源としての活用)を行うためにデジタルを活用し、観光地などの所得に繋がる助言を頂いたため。BPRやDX推進方針を策定することなどの有益な助言を頂いたため。
アドバイザーへの要望事項	

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	14人
	属性	企業・団体	その他(学生など)
	自治体職員	0	0
	住民	0	0
人数	14	0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	<p>ODXの全体方針策定プランの検討について 推進方針の策定にあたり、DXを実施するための組織体制において職員の教育において、本来の業務時間に加えてデジタルを業務に活用する知識の学習時間をどのように捻出するか問題となった。</p> <p>OBPR(主として内部業務)の推進について これまで全庁的な業務改善の実施が行った事がないことから、ノウハウが不足していた。</p>
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	<p>ODXの全体方針策定プランの検討について 住民の満足度の向上や、BPRの推進するための方針を策定する。また、実現の優先度を順位付けすることなども行う。</p> <p>OBPR(主として内部業務)の推進について 職員が本来専念すべき企画の立案や、住民へのサポートに専念するための時間を捻出するために業務効率化を実現する。</p>

<p>アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)</p>	<p>ODXの全体方針策定プランの検討について 職員の教育は地方公務員の職員がなにもモチベーションとしているか質問を受けながら、整理した。 BPRは二通りの方法があり、全業務の棚卸しにより非効率な箇所を洗い出す方法と、各課の職員が課題や問題とする箇所を意見を出し合い解決する方法の説明を受けた。 陸奥湾にセンサーを配置し、水産物資源のデータ化を行うことにより観光業の振興に繋げることもできる旨説明を受けた。 OBPR(主として内部業務)の推進について 町の組織内で検討した現状や問題を支援のもと、対策可能なレベルの課題として整理した。</p>	
<p>支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)</p>	<p>ODXの全体方針策定プランの検討について 職員の学習するモチベーションを促進するための仕組みの検討に繋がった。 BPRの実施方針として全業務の棚卸しによる方法はコストや実施に時間がかかるなどから、各課の職員が課題の意見だしを行う方法を継続的に行う事が当町の組織に合うと考えられる。 当町の観光業の振興に繋がるアイデアの提供を受け、今後検討していきたい。 OBPR(主として内部業務)の推進について 対策可能な課題に落とし込んだことで、業務効率化の前進に繋がった。</p>	
<p>具体的な成果物</p>	<p>最も当てはまるものをリストより選択下さい。 現状や問題を課題に落とし込みましたリストを作成することができた。</p>	<p>⑦その他</p>
<p>改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)</p>	<p>ODXの全体方針策定プランの検討について 住民サービス(窓口業務以外)の分野において、住民目線でどのようなことやサービスがあれば良いかなどの検討は持ち越しとなった。 OBPR(主として内部業務)の推進について 課題に対しての具体的な対策は今後の持ち越しとなった。</p>	
<p>アンケートの内容と分析結果</p>	<p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 今後も実施を予定しており、アンケートの実施の必要性を感じないため。</p>	
<p>4-3. 今後の計画</p>	<p>最も当てはまるものをリストより選択下さい</p>	<p>④予算以外で、今後取組む事項がある</p>
<p>4-4. 事業の最終的な目指す姿</p>	<p>・業務の効率化や生産性向上を進め、業務時間を捻出し、住民サービス住民の利便性や行政サービスの維持・向上を目指す。その後、住民の利便性の向上の具体的な手段として、オンライン申請の拡充や書かない窓口システムなどの導入等により、来なくても良い、待ち時間の少ない窓口の在り方を</p>	

具体的にご記入下さい。
支援を受けた事業が成果に
因(自治体側に内在していた)

具体的にご記入下さい。
支援を受けた事業が成果に
因(自治体側に内在していた)

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可
https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

掲載許可 掲載可

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

